

ビジネスアシスト通信

2026年1月1日 第50号



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。
本年も引き続き、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
皆様のご健康とご多幸、そして貴社のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

ビジネスアシスト事業協同組合 代表理事 藏野 誠一郎

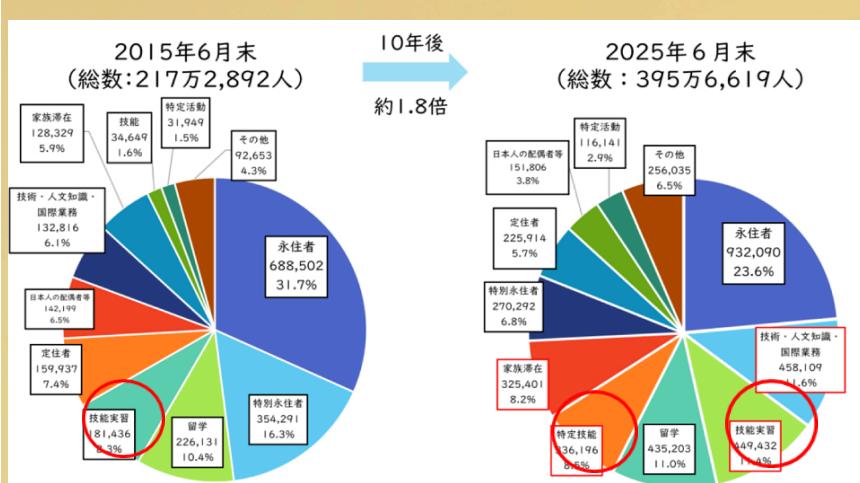
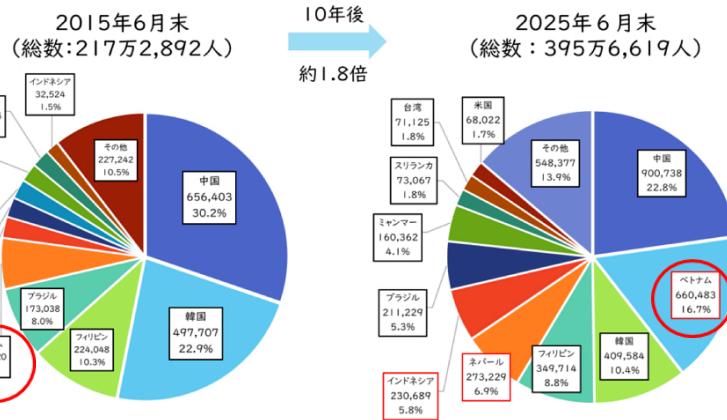
2026年を迎えた今、日本の外国人政策は大きな転換期を迎えています。

日本に在留する外国人は約396万人（2025年6月末）、外国人労働者数は約230万人（2024年10月末）と、ともに過去最高を更新しました。すでに外国人は日本の経済社会を支える一員となっており、在留外国人の増加ペースは一段と加速しています。

他方で、一部の外国人による違法行為、ルールからの逸脱に対して国民の不安や不公平感が生じている側面があり、外国人政策をめぐる社会的な関心は一層高まっています。

国際的な人材獲得競争が激化するなか、日本の産業競争力を強化していくためには、日本が外国人材から「選ばれる国」となる必要があります。内外の多様な人材の活躍を推進する中で、外国人材を戦略的に誘致していくことができるかが、日本の成長力や社会の活力を大きく左右します。

多様性をイノベーションにつなげる高度人材の獲得、地方部を含め深刻化する労働力不足を解消する現場人材の受け入れ、そして将来優秀な人材となりうる優秀な外国人材の誘致・定着など、在留資格ごとに必要な施策は異なります。



この10年で技能実習＋特定技能の数は
181,436人⇒785,628人（4.3倍）に増えている。

2025年度は3社の方に組合のベトナム視察へ参加していただき、現地の送出機関、学校の教育風景を確認していただきました。

年々変化していく技能実習生教育に対する日本側の要望や希望に対し、どの送出機関側もスピード感・危機感を持って対応している中、日本側（受入れる側）はどれ程の対応（変化）が出来ていたでしょうか。

外国人である、日本語が上手でない、どうせ日本の文化が理解できないであろう等の思い込みから差別的な管理になっていたいなかったであろうか。

ベトナムとインドネシアの実習生・特定技能外国人のアンケートによると、「差別や偏見への不安」「職場の人間関係への懸念」等が不安要素の上位を占めており、人間関係の心理的ハードルが強調されている中、経済的待遇だけでなく、心理的安心と文化的受容を重視した受け入れ体制整備がますます必要とされています。

更に2027年4月からスタート予定の育成労制度、2026年1月から施行される改正行政書士法に伴う対応等、適法な運営を行うための対応も必要となります。

今後も海外からの人材が安心した成長環境下で長く働くご助力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

先日、技能検定初級試験を受けました



試験当日は、不安や緊張はありました。しかし、最後までやり遂げようという気持ちで臨みました。学科試験には不安がありましたが、無事に試験を終えることができ、ほっとしています。来日当初は戸惑うことも多くありました。現在は仕事にも慣れ、自分の成長を感じています。今後も努力を続け、N3に合格することを目指しています。

石川県 水産練り製品
LE THI HONG HANHさん



試験に向けて、問題演習を行い、苦手な部分を重点的に練習してきました。しかし、試験開始前は、問題をうまく解けるかどうかという不安から、少し緊張していました。実際に試験が始まっていますから、落ち着いて臨むことができました。今後は、日本語の勉強にさらに力を入れ、技能実習のプログラムをしっかりと修了できるよう努力していきたいです。

岐阜県 惣菜製品製造職種
VO THI HUYEN THUさん

来年日本に入国する実習生



今回の試験は、私にとってとても重要な試験です。会社および監理団体の方々の期待に応えられるよう、一生懸命に勉強し、試験対策に取り組んできました。十分に準備をしてきたつもりではありますが、試験前日にはとても緊張していました。試験は無事に終了し、まだ結果は発表されていませんが、全員が良い結果になることを願っています。

石川県 惣菜製品製造職種
DUONG THI HA DUNGさん

パーティー・リフレッシュタイム



面接結果通知をいただいた後、私も家族もとても喜びました。一方で、家族や故郷を離れることに対して、不安な気持ちもありました。日本へ渡航するまでの目標は、日本語を一生懸命勉強すること、健康管理に気を付けて体力をつけること、そして日本の文化や人々について理解を深めることです。日本で技能実習3年間の目標としては、日本語能力を向上させ、N3に合格することです。また、仕事に真面目に取り組み、周囲の方々と協調しながら生活し、休日や祝日には観光や体験を通して、より多くのことを学びたいと考えています。

茨城県 惣菜製品製造 HOANG THI HA GIANGさん



先日、会社で一年の締めくくりとして小さな食事会が開催され、入社してから初めて参加しました。パーティーでは社長や管理者の方々が親切に声をかけてください、会社の皆様の温かさを感じました。入社当初は不安や戸惑いもありましたが、現在は仕事にも慣れ、自分の成長を実感しています。会社の皆様のご配慮に感謝し、今後はさらに知識と経験を積み、責任を持って仕事に取り組み、会社に貢献していきたいです。技能実習の3年間を通して、日本語の勉強にも励み、皆様とより円滑にコミュニケーションが取れるよう努力し、将来は日本で長く働きたいです。

茨城県 惣菜製品製造 NGUYEN THI LE NHIさん

お問い合わせ



ビジネスアシスト事業協同組合

〒920-3116 石川県金沢市南森本町ホ30-1-3E

TEL: 076-257-8095

FAX: 076-257-8096

発行責任者: 藏野 誠一郎